

栄光園だより
第100号
2015年7月30日発行
発行
社会福祉法人 栄光園
別府市南荘園町3組
〒874-0904 電話 (23) 2827
振込口座 01930-2-20748
編集 広報誌編集委員会
印刷 大野印刷株式会社
別府市青山1-7 電話 (21) 0505

違う道

評議員 平野 八郎



武蔵野の片隅で一人の男が農作業に精を出している。

身の丈六尺豊かながっちりとした体格の持ち主。姿、形、風貌はと云えば一見して忘れられない面構えと鍛えられた肉体と外見は百姓姿でも、見る者が見れば、ただものではないぐらゐの判別は出来るだらう。其処に若者が現れて先生と声を掛けた。声を掛けられた背の高い男は無言である。若者は重ねて言い続けた。私はここに来て半年になります。百姓の見習いに来たのではありませぬ。少しでも剣の道を習い、その業や技術を身に付けたくて来たのです。……教えてください。先生答えてください。

男は静かに答えた。

剣は剣なり！ 剣は剣なり！……と。

若者は、唯啞然とした儘、真実誠の意味がわかったであらうか。いやわかるまい。だが其処には道を究めつつあった武蔵の端然とした姿のみが全てを物語っていた。

……私たちキリスト者として、武蔵の云う剣は剣なり云々は、道理として何となく理解出来るもの、道を究める所は、キリスト者として極めるのではなく、歩み続けるのです。唯歩くだけです。信じてどこまでも歩み続けます。主が備えられ道があるのです。私たちにどうしてそれが命だからです。……各々違った二つの道のある事を知るべきでは……。

暑中お見舞い申しあげます

酷暑の折柄、皆さまのご健康をお祈り申しあげますと共に、今後なお一層のご指導・ご支援を賜りたくお願い申しあげます
2015年 盛夏

社会福祉法人 栄光園	理事長 友永 丈一
児童養護施設 栄光園	施設長 江口 敏一
乳児院 栄光園	施設長 熊谷登喜子
青山保育所	所長 小久保次郎
野口保育所	所長 本庄 智宏
職員一同	

「この僕に聞き分ける心をお与えください」

列王記上3章9節

青山保育所 小久保次郎

心という漢字は、心臓の構造を表している文字です。心臓は体の中でも最も不思議な器官です。誕生する前から生涯、体むことなく動き続け、人体に酸素と栄養を送り続けます。そして、この心臓は、心と感情を実に反映します。緊張や過度のストレスがあると心臓はドキドキと鼓動が早くなります。心臓が痛くなることもあるでしょう。逆に喜びや嬉しさで心晴れやかですと、心身ともにリラックスします。神様は、ソロモン王の夢枕に立ち、「何事でも願うがよい。あなたに与えよう。」と言われます。普通の人でしたら、人生の成功、健康、家内安全、富、長命などお願いするところかもしれません。しかし、ソロモン王は、ただ「あなたの民を正しく裁き、善と悪とを判断することができるよう、この僕に聞き分ける心をお与えください。」とソロモン王は答えています。ソロモン王は、神に何を求めるべきかを知っていました。

今、人工知能が話題になっています。何十年後かに、人工知能が人間の能力を超える可能性があるというのです。そして人間を支配するようになるのではないかという見方もあります。映画でも優れた人工知能をもったロボットと人間の共存を取り上げた内容も多くなりました。ロボットは何を求めるのでしょうか。近未来の話ですが気になります。ロボットのお手本である人間そのものが矛盾と自己肯定の塊みたいな存在といえなくもありませんから、ロボットも矛盾と自己肯定で行動するかも知れません。しかし、どれほど社会や技術が発展しようとも、福祉の原点は変わりませぬ。他者に最善の利益をもたらす利他の精神です。自己の利益を求めず、まず他者のために行動し、判断する生き方が必要です。イエスの生き方が自己中心の生き方と正反対の生き方をされたことに私たちは注目したいのです。神中心の生き方こそが、他者の福祉をまず第一とする生き方へと繋がるのではないのでしょうか。価値観と社会的規範が揺れ動く今だからこそ、神を中心とするソロモンの謙虚な生き方が光り輝きます。